

競技上の注意

1 選手の集合時間

前の試合の進行状況によらず、試合開始予定時刻の30分前にコイントスを行う。

2 打順表の記入と提出

配布された打順表は必要事項（全登録メンバー氏名・ふりがな）を記入し、試合開始予定時刻の30分前のコイントス時にバックネット裏に1部（5枚複写）提出すること。

3 攻守順の決定

打順表提出時に審判員立会いのもと「コイントス」によって決定する。コイントスの表裏の選択権は打順表持参の先着チームに与える。

4 ベンチ

組み合せ番号の若い方が一塁側となる。ベンチに入る者は申込書に登録された者（引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、選手18名、計21名以内）とする。

また、試合球場内には、打撃練習用マシンなど試合で直接使用しないものは持ち込まない。

5 競技用具の確認

競技用具を試合前に確認する。規格外及び危険と思われる用具は当該試合終了まで、本部で預かる。

（*注 キャッチャーマスクのSGマーク）

ロジンについては大会本部で準備するが、持参したものは試合前に審判の許可を得ること。

6 フィールドイング

登録メンバーのみで、後攻チームより5分以内とする。なお、大会運営の関係で時間を短縮することもあるので、審判員の指示に従うこと。

7 試合開始

集合準備の合図でベンチ前に一列横隊に並び、集合の合図と同時に駆け足でホームプレートを挟んで整列する。

8 競技規則

グラウンドルールで特に定めた場合以外は、2026年度オフィシャルルールを適用する。

サスペンデッドゲームを適用するが、5回試合成立を優先する。なお、審判員の同一性は担保しない。

オフィシャルルール5-3項より

（2）5回あるいはそれ以上の回が終了したときまたは後攻チームが先攻チームより5回か、それ以上の回の裏に、多く得点していたとき。

（3）5回が完全に終了していないときは、無効試合となる*1。ただし、以下の場合は正式試合となる

1）後攻チームが5回裏の攻撃をしなくても、先攻チームより得点が多いとき

2）後攻チームが5回裏の攻撃中に得点が多くなったとき。

*1 今大会ではサスペンデッドゲームで対応する。

9 ランナーコーチ

コーチズボックスの一方に、監督・コーチが入ることを可とする。ただし、その際のベンチ内には、引率責任者、監督、コーチのいずれかが必ずいること。

10 応援

選手や観客は品位をけがさないようにし、試合中に審判員や相手チームに対して、聞き苦しい暴言や野次を飛ばさないこと。また、笛（指笛）、太鼓、ペットボトル、メガホンやうちわなどの鳴り物を用いた応援は禁止とする。メガホンの使用は監督のみとする。

また、チーム関係者（含 保護者など）は自チームベンチ側の指定された場所での応援をすること。

11 暑熱対策

- ・試合が連続するチームは、30分以上の休憩を設ける。（ベンチ入り後、コイントスを行うものとする）
- ・当日の気候条件（WBGT）を考慮し、以下の給水タイム（クーリングブ레이크）をとる。
この間のベンチ内での声出しなどは行わないこと。

（長時間に及ぶ守備）同一チームが「20分程度の守備」もしくは「打者一巡（9人目の打撃が完了）」した時点で、3分間の給水タイム（クーリングブ레이크）を設け、両チームともにベンチ内で休憩する。給水後の投手の準備投球は3球以内とする。ただし、作戦タイムではないのでその間の指示は行わないこと。両チームの引率責任者・監督・コーチは自分ベンチ前のコーチーズボックスから選手の健康状態を観察し、観客等と会話はしないこと。（急を要する場合は、この限りではない。）
（定例給水）3回表、5回裏終了時は、2分間の給水タイムを設けることとする。ただし、そのイニングにおいて3分間の給水タイムをとった場合は行わない。この間の打ち合わせは可とする。
（タイブレーク時）7回裏終了時にグラウンド整備を行う。この間の打ち合わせは可とする。
その後、9回表、10回裏、12回表..... 1. 5イニングずつ、2分間設定する。

- ・いずれの給水タイムについても、終了30秒前にアナウンスにより、再開の準備をすること。
- ・状況により、試合中のチームの飲料の補給が必要な際は、競技役員または審判員で対応する。
- ・その他、特殊な状況（中断やサスペンデット等）においては、上記によらず定例給水を競技役員が設定することもある。

12 その他

- ・試合開始時刻及びグラウンドルールは、状況により変更する場合がある。大会は小雨決行を原則とし、天候やグラウンドコンディションによる試合中止や開始時刻の変更については、大会本部よりチームに連絡する。
- ・試合前のアップ時における、当該使用球場内でのフリーバッティングは行わない。ロングティは可とするが、打球の方向やネットの使用など、危険防止のための指示に従うこと。（自チームベンチ前の塁線方向の外野に向かって打つこと）
- ・球場外のスペースでは、その日の第1試合のチームのみロングティを可とする。